



とことろどろ THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA



会長	大澤和子	クラブ会長主題	「すべての人に何もかもはできないけど、だれかに何かはできる」	東日本区理事主題	「原点に立って、未来へステップ」
副会長	栗原成晃	国際会長主題	「Mission with Faith」	関東東部部長主題	「チェンジ」
書記	大澤和子	アジア会長主題	「Through Love, Serve」		
会計	小関京子				

今月の聖句 愛は、すべてを完成させる
きずなです。(コロサイ 3章14節)

3月例会プログラム

日時 2016年3月12日(土) 18:30

司会 栗原副会長

1. 開会点鐘 大澤会長
2. ワイズソング
3. ワイズの信条
4. 聖書・食前の祈り 渋谷メン
5. 会食(自己紹介) 会費 1000円
6. 卓話「未然に防ごう 消費者トラブル」
消費生活アドバイザー 坂本憲枝氏
7. ワイズ報告 大澤会長
8. YMCA報告 小谷主事
9. 誕生・結婚記念
10. にこにこ献金 小関メン
11. 閉会点鐘 大澤会長

- 40周年記念コンサートプログラム 広告印刷代募金
(ニコニコは0円) 17,000円
- 出席率 55パーセント
- 2月例会出席 合計 20名
会員6名+ゲスト13名+メネット1名

3~4月予定

- | | |
|---------------|------------------------|
| 3/6~7(土、日) | 次期クラブ会長、役員研修会 |
| 3/12(土) 18:30 | 例会(卓話坂本憲枝さん) |
| 3/26(土) 10:00 | 狭山丘陵ウォーク
~トトロの森でお花見 |
| 3/26(土) 13:00 | 準備例会 |
| 4/9(土) 18:30 | 例会(卓話小谷主事) |
| 4/16(土) 13:00 | 関東東部評議会 |
| 4/22(土) 11:30 | 準備例会 |

YMCAらしいプログラムにこだわり続けて 桑原道子

14年前に総主事になって、私の中で一番の埼玉YMCAの課題は、浦和センターと川越センターの自立でした。英会話スクールが乱立する中で、成人英語に陰りが見えてきたころでした。当時、浦和・川越センターは英会話クラスの収入を主軸としてダイナミックサマーと野外活動で運営していたのです。浦和センター館長も兼務しておりましたので、センター自立への必死の取り組みが続いていたのです。成人英会話から幼児・小学生英語に軸が傾き始めていた時代のことです。

ミッションに基づくYMCAだからできるYMCAらしい職員主導のプログラムを何とか作りたい。そのための努力が始まりました。生きにくさを抱えた見えない障がいをもつ子どもたち、その子どもたちを受け止めたい。そういう願いのもとに、LD児理解セミナーなどを開催しながら、野外の職員一名(三上さん)と教員資格を持つ職員一名(関さん)を採用し、ウエルネス・野外を兼務してもらいながら、埼玉YMCAの理想の特別支援教育の基盤づくりがはじまっていました。そこにはYMCAとしてのいくつかのこだわりがありました。優しい表現で言えば、「ひとり一人をかけがえのない人として大切にする。」と言うことで、「ひとり一人の生きにくさを理解し寄り添ってともに生きる。」ことでした。若狭先生が与えられ、様々なパイロットの取り組みをする中で、常にその「YMCAのこだわり」が継承されていきました。その後、3年お待ちして(最初の劇的出会いから)今、特別支援教育のアドバイザーとなったださっている小関先生が与えられました。YMCAのプログラムに関わってまもなく、特別支援教育の指導者である小関先生に「たとえ専門性がなくても、その一人に寄り添っているかどうかがなにより大切なのです。YMCAはもとよりそれが出来ています。子どもに対する愛があります。」と言っていたことで、本当に励まされたことを忘れることができません。

センターの苦しい時に、自立のできないこの特別支援教育に私が躊躇なくこれほど熱心になれたのは、幼い時に、突然ブラジルに行き、まったく言葉の通じないところで、自分を思うように表現できない、仲間に解かってもらえない、誰も頼りに出来ない。そういう辛い、誰にもわかってもらえない暗黒の中の孤独の体験を持っていることによります。けれども、同時に、解からない理由や状況を周

困の人たちが理解して受け入れてくれるようになると、ゆっくりではあるけれども、必ず良い方向に向かうことができる。そういう幼児体験をしていたことによるのです。

小関先生との出会いから10年以上たって、クローバークラブ放課後デイサービスとなった別支援教育プログラムは、「YMCAのこだわり」を継承しながら、多くの子どもたちとその保護者に寄り添って歩んでいます。そして、今、長い間、皆様のご支援によって継続していたこの特別支援教育プログラムによって、ようやく浦和・川越センターも自立ができるようになりました。けれども、忘れてはいけないのは、いまだに彼らのことを地域や社会が十分な理解をしていないことです。就労の問題やその後の自立への道は厳しいものがあります。そういう子どもたちの側に立って寄り添っていく、良き指導者育成をする、良い支援プログラムが継続出来るように、これからも皆様のYMCAへのご理解とご支援をお願いいたします。所沢ワイズメンズクラブが生きにくさを持った子どもたちへの理解者を地域に増やし、ともに、そういう子どもたちの側にたつて「笑顔」を生み出す特徴ある活動を続けて行かれることを願います。気がつけば、我、所沢クラブには、そういう活動のできる理解あるメンバーが集められ、与えられている偶然とは思えない事実があって、所沢クラブは神様に祝福されていると喜んでおります。

埼玉YMCAでは、新年を迎えた1月から新年度(2016年4月から)への通年プログラムの継続手続きと、春季(3月)に実施する水泳・体操・英会話・キャンプ等のシーズンプログラムの申込受付を行っております。

また、今年度行ってきた創立40周年を記念したチャリティーコンサートも、川越・所沢・浦和地区での開催を終え、迎える3月に開催する「感謝のコンサート」で締めくくりとなります。(3月21日(月・祝) 詳細は追ってご案内いたします)

是非3月のご予定に入れていただき、所沢ワイズの皆様にご参加いただけることを楽しみにしております。

2月例会報告

小関 京子



日時: 2月13日(土) 18:30~20:30

場所: 所沢センター

参加者: ワイズマン&メネット(敬称略)

(大澤、小関、栗原、渋谷、林、林メ、小谷)

ゲスト(敬称略)

(河西、小林、田中智、小林恵子、種山、上山、黒田、松下父子、藤田、松石、木村)

卓話者二子石さんは元埼玉YMCA総主事であり・所沢クラブを立ち上げてくださった方です。総主事を去られてからの数々のお働きがまた素晴らしく、CFF(子どもの未来を考える会)を立ちあげ、若者と共にフィリピンに児童養護施設を作られました。ニューズウィーク誌で世界に尊敬される日本人100人にも選ばれています。

世界的視野に立ち、『” 青少年の貧困化問題、あなたの隣人はだれ?”』~” 子供の家の子どもたち、その後”』と題して、フィリピンの施設の子供たちの数人の昔と今のスライドを見せながらお話し下さいました。また、狭山市で起こった幼児虐待の新聞記事を持ってきて下さり、「今、あなたたちに出来ることは何か?」と考えさせて下さいました。もっともっとお話を伺いたかったです。

組織も、個人も、その理念をはっきり持っていなければ、活動は長続きしないと心からのメッセージを頂きました。心に染みしました。

準備会報告

東 裕二

2月17日(水) 11時半より 狭山魚べい

参加者 大澤・小関・東

- ① 3月定例会のプログラムについて
- ② 台湾南部地震支援募金について 募金 5000円
- ③ 所沢ワイズメンズクラブの封筒について
印刷の見積もりをする
- ④ 3月26日「狭山丘陵ウォーク」、3部合同例会について (別紙参照)

ワイズ報告

大澤 和子

- ・後期の会費未納の方は、納めてください。
- ・台湾南部地震支援金として 5000円送る。
- ・次期会長役員研修会に、栗原・小関・大澤が参加します。
- ・狭山丘陵ウォークに友人知人をお誘いください。
(詳細はチラシ参照。)

